

# 『中学校社会科地図』の特色一覧

## ①教育基本法との対応

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	※(青字)は教科書のページ
<p><b>第1号</b></p> <p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健康な身体を養うこと。</p>	<p>○日本・世界の自然、産業、歴史など、さまざまな情報を地図上に掲載し、<b>空間認識をともなった幅広い知識や教養が身に付く</b>ようにした。さらに、等高線で色分けされた表現にしたり、土地利用表現にしたりすることにより、土地の高さや各地の人々の生活や産業のようすを読み取れるように配慮した。(本書全体)</p> <p>○小学校の復習を含めて、地図帳を活用するための方法や、地形図を読み取るための具体的な手順を示すことで、地図帳活用の技能や、地形図の読図力を身に付けられるように配慮した。(p.4-8)</p> <p>○世界の6州すべてに大きな鳥瞰図を設け、興味・関心をもって世界のそれぞれの州の学習に入れるように配慮した。(p.25-26,43,49-50,61-62,68,75-76)</p> <p>○世界の各州の資料では、<b>同縮尺の図を複数用意</b>し、各図の要素を比較したり、重ね合わせたりしながら、学習を深められるように配慮した。(p.22,27-28など)</p> <p>○日本の各地方の冒頭の資料では、地理的分野の中核となる事象である自然、人口、産業(農業・工業)、交通を示した<b>資料図を同縮尺で掲載</b>し、それぞれの分布や傾向性、事象間の関係性などを考案できるようにした。(p.127-128など)</p> <p>○日本の資料では、訪日外国人や<b>オリンピック・パラリンピック</b>についてなど、新しい視点の資料を盛り込むことで、<b>地域の変化を捉え</b>られるようにした。(p.116⑥,129③,144⑨,161など)</p>	
<p><b>第2号</b></p> <p>個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<p>○丈夫でありながら、A4サイズ換算で1ページあたりの重さが<b>現行版よりも約15%も軽い専用紙</b>を採用し、持ち運びの際に<b>生徒の負担にならない</b>ように配慮した。</p> <p>○色覚特性のある生徒にも地図や資料が読み取りやすいように、<b>ユニバーサルデザインフォント</b>を使用し、さらに地図ページ中の国名・都道府県名などの<b>重要地名には、白色で縁取り</b>をした。また、国や都道府県ごとに塗り分ける色はカラーユニバーサルデザインに配慮し、色数が多くなる場合には<b>背景に地紋を入れる</b>など色の識別がしやすくなるようにした。(本書全体)</p> <p>○問い「<b>地図活用</b>」(計94か所、<b>全131問</b>)を設置し、<b>生徒が主体的に地図を読み取る力を身に付けられる</b>ように配慮した。(p.6,9など)</p> <p>○<b>二次元コード</b>(計38か所、<b>全111コンテンツ</b>)を設置し、授業以外においても、<b>生徒自ら活用</b>できるように配慮した。(p.5-6など)</p> <p>○<b>インクルーシブ教育に配慮</b>し、都道府県名などを手話で表す「手話で表してみよう」を設置した。(p.186③)</p>	
<p><b>第3号</b></p> <p>正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>○「各国語のあいさつの例」に掲載した生徒のキャラクターは、男女の比率が<b>ほぼ等しく</b>なるようにした。(p.17-18)</p> <p>○日本の政治・経済に関心をもち、公民的分野でも活用できるように、「霞が関」の地図を掲載した。(p.126③)</p> <p>○少子化・高齢化や資源・エネルギー問題など、<b>現在の社会が直面する課題についての資料を掲載</b>し、社会の一員として、公共の精神や、社会の参画に対しての意識を高められるようにした。(p.151-154など)</p>	

# 『中学校社会科地図』の特色一覧

## ①教育基本法との対応

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	※（青字）は教科書のページ
<p><b>第4号</b></p> <p>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「世界自然遺産」「ラムサール条約登録湿地」「貴重な動物・植物」「天然記念物」「世界ジオパーク」の記号を地図中に記載し、守るべき自然環境への関心を高められるようにした。（本書全体）</li> <li>○環境問題に関わる特設ページを設け、世界の環境問題の現状、原因、対策を取り上げ、環境問題や<b>持続可能な開発目標（SDGs）</b>への関心を高められるようにした。（p.13-14など）</li> <li>○世界や日本の環境に関する資料を随所に取り上げ、環境への関心を高められるようにした。（p.28⑩,105⑥⑦など）</li> <li>○<b>日本の地方ごとに自然災害と防災に関する資料を掲載</b>し、多様な災害と対策・防災を理解できるようにした。（p.88⑩,96⑨,132⑩など）</li> <li>○日本の地形や世界自然遺産、国立公園、ジオパークなどの分布がわかる特設ページを設けて、日本の自然環境についての理解が深まるようにした。（p.145-146）</li> <li>○<b>日本全体の災害と防災に関するページを掲載</b>し、災害の種類や分布を理解するだけでなく、地形図やハザードマップの見方を身に付けることで、地域社会の一員として防災への意識を高められるようにした。（p.149-150）</li> </ul>	
<p><b>第5号</b></p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の時差が端的にわかるような工夫を施したり、日本中心だけでなくヨーロッパ中心の地図を配したり、大陸側から日本を眺めた鳥瞰図を設置したりすることで、<b>多面的・多角的に世界を見る視点が養える</b>ようにした。（p.1-3,31-32など）</li> <li>○世界の宗教や料理など、世界の文化を紹介する資料を掲載し、他国の文化への理解が深まるようにした。（p.15-18）</li> <li>○多文化共生の視点からすべての国の国旗を掲載し、国旗への関心が高められるようにした。（p.23-73）</li> <li>○世界各地と日本とのつながりを示した資料「<b>日本との結びつき</b>」（全11か所）を設置し、国際社会に関心をもてるように配慮した。（p.28⑩,31②,36⑦,39,40,44,52,54,64,70⑦,76）</li> <li>○各地に根付いた伝統的工芸品や、日本国内の世界文化遺産を記載し、日本の伝統と文化への関心が高まるようにした。（p.77-142）</li> <li>○日本の歴史遺産や各地に伝わる伝統・文化に関する資料図を設けた。（p.162-164）</li> <li>○北方領土、竹島、尖閣諸島について、写真付きで取り上げて、<b>我が国固有の領土であることを明記</b>し、国土の正しい理解がはかれるようにした。（p.77-82,89③,142①②③,187-188）</li> <li>○日本の領土や排他的経済水域を見開きで大きく掲載した。また、東西南北端の島については写真と地図を併用してわかりやすく示した。（p.187-188）</li> <li>○平和学習で活用できるように、長崎市の鳥瞰図と広島市の都市図を掲載した。（p.88⑨,89②）</li> </ul>	